

E. coli由来の抗酸化ホスファターゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1399

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 南極リン酸エステラーゼは、DNAおよびRNAから5'リン酸を除去する触媒です。リン酸エステラーゼ処理された断片は、リガーゼに必要な5'リン酸末端を欠いているため、自己連結することができません。この特性は、クローニング略においてベクターバックグラウンドを減少させるために利用できます。

用途 DNA、RNA、rNTP、dNTPからの5'リン酸の除去 5'末端ラベリングのためのテンプレートの準備 クローニングベクターの再環状化の防止 PCR反からのdNTPおよびピロリン酸の除去 タンパク質の脱リン酸化

別名 南極ホスファターゼ

製品情報

種 大腸菌

由来 大腸菌

形態 10 mM トリス-HCl (pH 7.4)、1 mM MgCl₂、0.01 mM ZnCl₂、1 mM DTT、及び 50% グリセロール。

分子量 Apparent: 35 kDa Theoretical: 69 kDa

純度 > SDS-PAGEによる推定95%

濃度 5,000 ユニット / ml

単位定義 1単位は、HindIII (5'突出末端)、HincII (平坦末端)、またはPstI (5'凹端)で切断された1 µgのpUC19ベクターDNAを37°Cで30分間で脱リン酸化する酵素の量として定義されます。脱リン酸化は、自己ライゲーション反における再循環の> 95%の抑制として定義され、E. coliへの形質転換によって測定されます。

保管・発送情報

保存方法 -20°Cで